

電氣工場従業員一同代表者 近藤武一

株式会社大阪鐵工所 岡島工場御中

右決議文を岡村氏に渡し同日午後二時より非公式に造機部長西牧忠治氏と  
菅原王代表者と稱する近藤武一氏と會見す。立會者菅原盛三郎氏、  
岡村清氏

西牧氏 今日部長として立ち非公式に個人として會ふた。一体何と言ふのか。  
近藤氏 嘆願書を出しをりて此を通り決議したくない。

西牧氏 嘆願書の始末を対し何等回答とせぬに決議書を出し且十九日午前  
十時迄に回答の事とは余りに急いで順序を誤して居りませぬか、

近藤氏 左様か知りぬせぬ。然し之は吾々の電氣工場職工許に於ては各工場  
全部の事です。

西牧氏 或は左様か知りぬか目下工場之營業状態は如何。尙岡島工場は修繕  
船が就ては多少利益を擧げ居るりは明かた然し新造船は莫大の損失

を招きたる。又板島工場は欠損。桑名工場も同様。然し大阪鐵工所は  
七は三社決算を以て或は此上半期には損失を免れり。

殊に各港運道。諸般体此此八九月頃には非常に不況となり居るはか  
言ふに居る。一人何時に三割、二割、一割昇給等は考へ余りに足  
りないしやないか。

近藤氏 自分も其様思ふ。お話しより解りました。然し吾々の電氣工場  
職工一同は決議したくない。

西牧氏 四年間一回も昇給せぬと言ふ事。それ迄は自分が知らず。分ては昨年六月  
より折々昇給ありてあるやないか。無論全部しやないが此度も職工壹百

名に對し二十名の割合で昇給すべき。既不自分の事許近各工場から出て次の  
締切から昇給する事に決つて居るやないか。

近藤氏 それば承知して居ります。

西牧氏 只今は個人として會つて居るのしや。此様の嘆願は正式に聞か入ればとて